

## 平和を永遠に

### 大山口列車空襲慰霊祭・

### 平和祈念の集い

大山口列車空襲被災者の会（金田吉人会長）主催の慰霊祭が、7月28日に大山公民館で行われました。被災者、遺族、小中学生ら140人が参加し、犠牲になった人たちに哀悼の意を捧げました。

慰霊祭で金田会長は、「戦争体験を語る人が少なくなってきた。しかし、戦争の悲惨さを語り継ぐのを止めるわけにはいかない」と訴え、町内の小・中学生たちは「平和へのメッセージ」を発表しました。

また、遺族を代表して、この列車空襲で兄を亡くした金田令治さん（松河原）が、当時の状況を生々しく語り、参列者の涙を誘いました。

慰霊祭に続いて開かれた平和祈念の集いでは、被災者の体験をもとにした紙芝居「鉄道のかなたへ」や、佐摩出身のジャズシンガーおかある・らぶさんのコンサートが行わ



▲「この駅からはじめよう」おかある・らぶさん(右)



▲平和へのメッセージ 大山中学校

れました。おかあるさんは、自作で、列車空襲の悲惨さに触れた「この駅からはじめよう」を大山小の児童と一緒に歌いました。

## 日野さん、最優秀賞に輝く

### 全国愛情弁当コンテスト



▲新幹線をモチーフに



日野さん

米子南高校で調理を学ぶ日野由里佳さん（駅前）が、「第6回全国愛情弁当コンテスト」で最優秀賞を受賞されました。

鳥取県からの受賞は初めてで、全国から寄せられた3200点の頂点に輝いたお弁当のタイトルは「Z.O.O」と友達弁当」。新幹線に乗って動物園に遊びに行く子どもの気持ちをイメージして、見て楽しい、食べて元気になるお弁当に仕上げました。

ご飯と海苔の大きさで遠近感を工夫し、今にも走りだしそうな新幹線を表現した点が高く評価されました。



▶「つかまえた！」

## 清流を大切にしよう!

### 甲川溪流まつり

甲川うぐいす橋下手を会場に、甲川溪流まつり（主催：中山まちづくり実行委員会）が7月31日に行われました。このイベントは、日本百名谷の1つの「甲川」の素晴らしい自然を知り、親しみをもってもらうと毎年開かれています。

参加者は町内外から約260人。上流探検、ヤマメのつかみ捕りや流しそうめんなどを子どもたちはもちろん、大人も童心に返って満喫しました。捕まえたヤマメは炭火で焼かれ、香ばしいにおいが広がりました。

清らかに流れる水は冷たく、連日の暑さを忘れるほど。会場は「楽しい」「おいしい」の声がたくさん聞こえました。